

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年9月期2Q	13,410,000株	2018年9月期	13,410,000株
② 期末自己株式数	127株	2018年9月期	127株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	13,409,873株	2018年9月期2Q	13,409,874株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年10月1日~2019年3月31日)におけるわが国経済は、国内景気については企業収益、雇用環境等の改善等により緩やかな回復基調が続いているものの、海外では米中の貿易摩擦問題により中国経済が停滞、英国のEU離脱問題等もあり、政治・経済の先行き不透明な状況が続きました。こうした中、個人消費については、消費者の消費行動の変化でニーズが多様化していることに加えて天候不順等も重なり、力強さに欠ける推移となりました。

当連結会計年度は「新しい事業、新しい販路、新しい調達拠点、新しい商品に立ち向かう」を行動指針とし、①コスメコンタクト®(注)事業、②OEM事業、③ZACCA(雑貨)事業を3本柱として注力しております。海外市場については、特にコスメコンタクト®を中心に売上拡大を図っております。また、創立70周年を機に次の10年、さらに先を見据えた取り組みに着手しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、百円均一ショップ、バラエティストア向け売上が好調に推移したものの、ディスカウントストア、ネット通販向けの売上が減少したこと等により8,772,778千円(対前年同期比1.6%減)となりました。コスト面では、調達構造の見直し、在庫管理の強化を引き続き行っているものの、百円均一ショップ向けなどOEM商品の伸び率が高かったこと等により粗利率が低下し、差引売上総利益は2,540,761千円(対前年同期比2.7%減)となりました。一方、広告宣伝費、販売促進費、研究開発費、物流費が増えたものの、人件費が減少したほか、のれん償却が完了したことで、販売費及び一般管理費が2,353,159千円(対前年同期比2.8%減)にとどまり、営業利益は187,601千円(対前年同期比1.5%減)となりました。営業外損益では受取利息、受取配当金等の増加や支払利息等の減少により、経常利益は209,649千円(対前年同期比4.4%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこともあり、119,996千円(対前年同期比5.5%増)となりました。

(注) コスメコンタクト®は、瞳を大きく魅力的に見せる、マスカラやアイライナーのようなメイク発想のコンタクトレンズです。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

①化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、OEM向け商品等が好調に推移したことにより、4,940,581千円(対前年同期比1.7%増)となりました。

②コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、コンタクトレンズ商品のブランド数及び得意先の選択と集中を行っていること等により、1,633,402千円(対前年同期比16.6%減)となりました。

③服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、ポーチ・ケース等の売上が増加したものの、バッグ、サイフ類、携帯小物の売上減をカバーしきれず、1,304,906千円(対前年同期比0.6%減)となりました。

④その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、タオル類、文具、ギフト商品の売上が好調に推移したことで、893,887千円(対前年同期比14.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,448,064千円増加し、14,245,081千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,582,562千円増加し、11,506,640千円となりました。

これは主に、現金及び預金が1,101,968千円、受取手形及び売掛金が225,233千円、商品が279,441千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて134,497千円減少し、2,738,441千円となりました。

これは主に、有形固定資産が26,242千円、投資その他の資産の投資有価証券が64,129千円、その他が42,701千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,442,752千円増加し、8,980,988千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて446,564千円増加し、4,942,425千円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が385,170千円、未払法人税等が84,210千円増加したことに対し、その他が63,016千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて996,187千円増加し、4,038,563千円となりました。

これは主に、長期借入金が989,400千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,312千円増加し、5,264,093千円となりました。

これは主に、利益剰余金が52,946千円増加したことに対し、その他有価証券評価差額金が39,675千円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べて601,968千円増加し、4,145,241千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は、110,536千円（前年同期は291,265千円の支出）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益224,281千円計上するとともに、仕入債務の増加437,163千円があったこと、売上債権の増加△226,082千円、たな卸資産の増加△284,395千円があったこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、△507,422千円（対前年同期比780.0%増）となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入27,078千円があったこと、定期預金の純増加額△500,000千円、有形固定資産の取得による支出△23,207千円、無形固定資産の取得による支出△12,351千円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、獲得した資金は、1,001,903千円（対前年同期比22.0%増）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入2,100,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△1,031,000千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績につきましては、概ね計画どおり推移しており、2018年11月12日に公表いたしました2019年9月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,943,273	6,045,241
受取手形及び売掛金	3,060,570	3,285,804
商品	1,408,173	1,687,614
貯蔵品	99,945	101,500
為替予約	265,187	263,001
その他	154,026	126,774
貸倒引当金	△7,100	△3,296
流動資産合計	9,924,077	11,506,640
固定資産		
有形固定資産	1,780,047	1,753,804
無形固定資産	67,146	64,988
投資その他の資産		
投資有価証券	384,088	319,959
その他	698,046	655,345
貸倒引当金	△56,389	△55,655
投資その他の資産合計	1,025,745	919,648
固定資産合計	2,872,938	2,738,441
資産合計	12,797,016	14,245,081
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,918,662	2,303,833
1年内返済予定の長期借入金	1,825,200	1,904,800
未払法人税等	21,563	105,773
賞与引当金	152,000	110,000
返品調整引当金	41,900	44,500
その他	536,534	473,517
流動負債合計	4,495,860	4,942,425
固定負債		
長期借入金	2,846,104	3,835,504
役員退職慰労引当金	87,849	93,699
資産除去債務	31,901	32,053
その他	76,520	77,305
固定負債合計	3,042,375	4,038,563
負債合計	7,538,236	8,980,988

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,128,233	4,181,179
自己株式	△71	△71
株主資本合計	4,937,974	4,990,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,956	59,280
繰延ヘッジ損益	177,459	176,681
為替換算調整勘定	44,390	37,209
その他の包括利益累計額合計	320,805	273,171
純資産合計	5,258,780	5,264,093
負債純資産合計	12,797,016	14,245,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	8,915,905	8,772,778
売上原価	6,317,099	6,229,417
売上総利益	2,598,806	2,543,361
返品調整引当金戻入額	51,700	41,900
返品調整引当金繰入額	39,200	44,500
差引売上総利益	2,611,306	2,540,761
販売費及び一般管理費	2,420,867	2,353,159
営業利益	190,438	187,601
営業外収益		
受取利息	492	2,329
受取配当金	2,346	4,808
受取手数料	3,912	5,741
為替差益	16,333	17,614
その他	4,522	4,482
営業外収益合計	27,607	34,976
営業外費用		
支払利息	15,818	12,246
その他	1,456	682
営業外費用合計	17,275	12,928
経常利益	200,770	209,649
特別利益		
投資有価証券売却益	-	14,631
受取損害賠償金	10,369	-
特別利益合計	10,369	14,631
税金等調整前四半期純利益	211,139	224,281
法人税、住民税及び事業税	70,307	93,762
法人税等調整額	27,098	10,523
法人税等合計	97,406	104,285
四半期純利益	113,733	119,996
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,733	119,996

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	113,733	119,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,222	△39,675
繰延ヘッジ損益	△140,568	△777
為替換算調整勘定	14,666	△7,181
その他の包括利益合計	△111,679	△47,634
四半期包括利益	2,054	72,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,054	72,362
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	211,139	224,281
減価償却費	70,501	51,890
のれん償却額	72,799	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,037	△4,537
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△12,500	2,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△37,580	△42,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	98	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△11,889	△10,635
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,983	5,850
受取利息及び受取配当金	△2,839	△7,138
支払利息	15,818	12,246
為替差損益(△は益)	△2,127	343
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△14,631
売上債権の増減額(△は増加)	△462,289	△226,082
たな卸資産の増減額(△は増加)	△136,094	△284,395
仕入債務の増減額(△は減少)	52,267	437,163
その他	98,328	△5,004
小計	△152,422	139,949
利息及び配当金の受取額	2,851	5,899
利息の支払額	△15,590	△12,780
法人税等の還付額	114	1,602
法人税等の支払額	△126,218	△24,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	△291,265	110,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△30,544	△23,207
無形固定資産の取得による支出	△12,643	△12,351
投資有価証券の取得による支出	△6,235	△4,458
投資有価証券の売却による収入	-	27,078
その他	△8,234	5,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,658	△507,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,950,000	2,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,061,492	△1,031,000
配当金の支払額	△67,168	△67,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	821,339	1,001,903
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,250	△3,049
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	478,665	601,968
現金及び現金同等物の期首残高	3,193,216	3,543,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,671,882	4,145,241

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。